

科目名	アクセント滑舌(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)等、様々な作品にて活動						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	声優・俳優という職業について。 授業内容について。自己紹介。	授業内容の復習授業内容の復習
2	5月28日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り。外郎売りの歴史。	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
3	6月4日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
4	6月11日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
5	6月18日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
6	6月25日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
7	7月2日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
8	7月9日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
9	7月16日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
10	7月30日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
11	8月20日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
12	8月6日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
13	8月27日	講義・演習	外郎売りテスト。クラス内で外郎売りを披露	外郎売りを覚える
14	9月3日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月10日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習			外郎売り暗記。腹式呼吸の確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	アクセント滑舌(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)等、様々な作品にて活動						
授業の学習 内容	ボイスサンプルの説明と練習。絵本の朗読、ナレーション原稿、セリフの練習など。						
到達目標	ボイスサンプルの理解。前期習得した発声・滑舌を活かし、表現力を習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ヴォイスサンプルの説明。練習。	ヴォイスサンプルの準備説明を受けて、ヴォイスサンプルの準備
2	10月15日	講義・演習	ヴォイスサンプル練習。	ヴォイスサンプルの練習
3	10月22日	講義・演習	ヴォイスサンプル練習。	ヴォイスサンプルの練習
4	11月5日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習。	絵本の練習絵本の練習
5	11月12日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	絵本の練習絵本の練習
6	11月19日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	絵本の練習絵本の練習
7	11月26日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	絵本の練習絵本の練習
8	12月3日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	セリフの練習
9	12月10日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	セリフの練習
10	12月17日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	セリフの練習
11	1月7日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	セリフの練習
12	1月14日	講義・演習	絵本の朗読、セリフの練習など。	セリフの練習
13	1月21日	講義・演習	テスト	1年間の振り返り
14	1月28日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月11日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	発声 (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出						
授業の学習 内容	ストレッチ・体力作り ウラ声、オモテ声による発声練習・滑舌練習 インプロゲーム、シアターゲーム						
到達目標	自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。 腹式呼吸が出来るようになる。 相手に声が届くようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	発声についてのメカニズム・腹式呼吸	呼吸の体操(発声に備えてのテキスト予習)
2	5月29日	講義・演習	ストレッチ・呼吸の体操・声を出す	呼吸の体操(発声に備えてのテキスト予習)
3	6月5日	講義・演習	ストレッチ・体力作り・発声(イエアオウ)	筋トレ・復習
4	6月12日	講義・演習	ストレッチ・発声(ウラ声・オモテ声)	ストレッチの順番を覚える
5	6月19日	講義・演習	ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める	自分だけでストレッチ・復習
6	6月26日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・滑舌	早口言葉練習
7	7月3日	講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(外郎売り)	外郎売りを読む
8	7月10日	講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌・滑舌・ゲーム	外郎売りを覚える
9	7月31日	講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌・滑舌・ゲーム	呼吸の体操・外郎売りの練習
10	8月21日	講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌・滑舌・ゲーム	呼吸の体操・外郎売りの練習
11	8月28日	講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌・滑舌・テスト課題	呼吸の体操・外郎売りの練習
12	8月7日	講義・演習	テスト(外郎売り)	反省・振り返り
13	9月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	後期に向け反復練習
14	9月11日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月18日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	発声(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声 インプロゲーム、シアターゲーム 戯曲の一部の場面のセリフによる演技						
到達目標	自分が役に対してイメージした声、滑舌が出来るようになる。 相手役に声が届くようになる。 状況に応じた声が出せるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム	呼吸の体操再確認
2	10月16日	講義・演習	ストレッチ・発声・短いテキスト配布、説明	本読み
3	10月23日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	本読み
4	11月6日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	本読み
5	11月13日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	本読み
6	11月20日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	セリフを覚える
7	11月27日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	セリフを覚える
8	12月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	動きを覚える
9	12月11日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	演技練習
10	12月18日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	演技練習
11	1月8日	講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省
12	1月15日	講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省
13	1月22日	講義・演習	ストレッチ・発声・反省	感想文を書く
14	1月29日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月12日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's HIP HOP(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	EMIKO
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インストラクター歴12年(TSM8年)						
授業の学習 内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	毎回やっていく振付を授業内で覚える。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	基礎トレーニングを覚える	ストレッチ
2	5月25日	講義・演習	身体の使い方を理解する	ストレッチ
3	6月1日	講義・演習	DOWNの強化	ストレッチ
4	6月8日	講義・演習	DOWNにステップを取り入れる	ストレッチ
5	6月15日	講義・演習	UPの強化	ストレッチ
6	6月22日	講義・演習	UPにステップを取り入れる	ストレッチ
7	6月29日	講義・演習	DOWNやUPステップの組み合わせ	ストレッチ
8	7月6日	講義・演習	軸の強化	ストレッチ
9	7月13日	講義・演習	ターンを習得	ストレッチ
10	7月20日	講義・演習	ステップからのターンを習得	ストレッチ
11	7月27日	講義・演習	ステップの応用を習得	ストレッチ
12	8月3日	講義・演習	複雑なコンビネーションを習得	ストレッチ
13	8月17日	講義・演習	前期のまとめ	ストレッチ
14	8月24日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	8月31日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's HIP HOP(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	EMIKO
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インストラクター歴12年(TSM8年)						
授業の学習 内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	動きにメリハリをつけ、しなやかかつ力強く踊る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期のまとめを復習	ストレッチ
2	10月12日	講義・演習	体力強化	ストレッチ
3	10月19日	講義・演習	柔軟性を強化ししなやかな動きを習得	ストレッチ
4	11月9日	講義・演習	動きにメリハリをつける	ストレッチ
5	11月16日	講義・演習	踊りに合わせた表情、表現力を習得	ストレッチ
6	11月23日	講義・演習	即興力を身に着ける	ストレッチ
7	11月30日	講義・演習	振付と即興ダンスの組み合わせ	ストレッチ
8	11月7日	講義・演習	ペアダンスを習得	ストレッチ
9	11月14日	講義・演習	ソロダンスとペアダンスの組み合わせ	ストレッチ
10	11月21日	講義・演習	グループダンスを習得	ストレッチ
11	1月18日	講義・演習	フォーメーションを組み合わせる	ストレッチ
12	1月25日	講義・演習	フォーメーションを組み合わせる	ストレッチ
13	2月1日	講義・演習	1年の総まとめを実践	ストレッチ
14	2月8日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's ヴォイストレーニング (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	城山恵利
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてアーティストのバックコーラス、auのCMレコーディングなど数多くのコーラスやレコーディングを担当						
授業の学習 内容	歌を通じて、表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	ガイダンス、姿勢・呼吸説明、歌唱	姿勢の確認
2	5月28日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	姿勢の確認
3	6月4日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
4	6月11日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
5	6月18日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
6	6月25日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
7	7月2日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
8	7月9日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
9	7月16日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
10	7月30日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
11	8月20日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
12	8月6日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
13	8月27日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月3日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月10日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor'sヴォイストレーニング(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	城山恵利
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてアーティストのバックコーラス、auのCMレコーディングなど数多くのコーラスやレコーディングを担当						
授業の学習 内容	歌を通じて、表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
2	10月15日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
3	10月22日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
4	11月5日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
5	11月12日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
6	11月19日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
7	11月26日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
8	12月3日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
9	12月10日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
10	12月17日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
11	1月7日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
12	1月14日	講義・演習	まとめ、外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
13	1月21日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	1月28日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月11日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ドラマアクティング基礎 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	CFに多数出演。映画、ドラマ、舞台等で活動。						
授業の学習 内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を身に会得する。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。						
到達目標	1) 映像演技の絵作り、カメラに対しての演技【カメラに慣れる】 2) 内面の感情表現を、台詞以外の顔の表情、呼吸などで、表現を感情を伝える力を身につける。 3) カット割り、繋がる演技を会得。 卒業後、即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	オーディション(AD)対策。15分で自分で演技プランの組み立て演じる。(自己PR&演技を撮影)	自己PRを考えておく
2	5月28日	講義・演習	前回の映像チェック	カメラテスト。次回の台本、配布
3	6月4日	講義・演習	①「おいしい？」リハーサル(テスト撮影)	今回の反省を次回に生かす
4	6月11日	講義・演習	②「おいしい？」撮影	各人でそれぞれFBを自分の物にする
5	6月18日	講義・演習	③「おいしい？」映像チェック	4コマ動画のアイデアを考えてくる
6	6月25日	講義・演習	①「4コマ動画」作品制作 二人一組で、台本・絵コンテ作成	画角・流れを考え、ペアワークを楽しむ
7	7月2日	講義・演習	②「4コマ動画」作品制作、撮影日	可能であれば、編集をしておく
8	7月9日	講義・演習	③「4コマ動画」作品制作 編集作業	期日を逆算して余裕をもって制作する
9	7月16日	講義・演習	④「4コマ動画」作品制作 上映会	次回の台本、配布
10	7月30日	講義・演習	①「台本A」撮影	前回の反省を振り返り今後に生かす
11	8月6日	講義・演習	②「台本A」モニターで演技チェック	※レポート提出
12	8月20日	講義・演習	③「台本A」再撮影モニター演技チェック	※「夏休みの「4コマ動画作品」宿題
13	8月27日	講義・演習	オーディション対策	その場で台本渡します
14	9月3日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月10日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
・各自、ドラック用のノート用意。筆記用具。iPad。配布台本用のファイル。※撮影機材一式。カメラ・三脚・カチンコ・レフパン・マイク				

科目名	ドラマアクティング基礎 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	CFに多数出演。映画、ドラマ、舞台等で活動。						
授業の学習 内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対する表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を身に会得する。						
到達目標	1) 映像演技の絵作り、カメラに対する演技【カメラに慣れる】 2) 内面の感情表現を、台詞以外の顔の表情、呼吸などで、表現を感情を伝える力を身につける。 3) カット割りで、繋がる演技を会得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	※「夏休みの「4コマ動画作品」上映会	自己PRのコメント作成
2	10月15日	講義・演習	「オーディション台本A」AD形式	当日、台本配布。AD対策
3	10月22日	講義・演習	前回の授業のモニターで演技チェック	自分らしさの表現、コメントを確認
4	11月5日	講義・演習	前回の授業のモニターで演技チェック	自己のADスタイルを確立
5	11月12日	講義・演習	「CM撮影」制作打合せ	何のCMを作成したいか一案を考える
6	11月19日	講義・演習	「CM撮影」コンペ	五人一組。グループ決定。絵コンテ作成
7	11月26日	講義・演習	「CM撮影」グループMT	テスト撮影実施
8	12月3日	講義・演習	「CM撮影」撮影①	編集の準備
9	12月10日	講義・演習	「CM撮影」撮影②	編集の準備
10	12月17日	講義・演習	「CM撮影」撮影③	編集の準備
11	1月7日	講義・演習	「CM撮影」編集作業	荒編集を作成
12	1月14日	講義・演習	「CM撮影」映像チェック	※レポート提出
13	1月21日	講義・演習	1年間の作品上映会	選ばれた作品のみ上映します
14	1月28日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月11日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
撮影機材一式。カメラ・三脚・カチンコ・レフパン・マイク				

科目名	アクティング(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	体力と頭と体の解放						
到達目標	基礎体力作りと頭の体操						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介とこの授業の方向性	基礎体力作り
2	4月22日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 1	基礎体力作り
3	5月13日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 2	基礎体力作り
4	5月20日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 3	基礎体力作り
5	5月27日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 4	基礎体力作り
6	6月3日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 5	基礎体力作り
7	6月10日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 6	基礎体力作り
8	6月17日	講義・演習	基礎体力と頭と体の体操 7	基礎体力作り
9	6月24日	講義・演習	コミュニケーションでのお芝居 1	基礎体力作り
10	7月1日	講義・演習	コミュニケーションでのお芝居 2	基礎体力作り
11	7月8日	講義・演習	コミュニケーションでのお芝居 3	基礎体力作り
12	7月22日	講義・演習	コミュニケーションでのお芝居 4	基礎体力作り
13	9月2日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月9日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月16日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクティング(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	体力と頭と体の解放						
到達目標	基礎体力作りと頭の体操						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	体を使つての表現(瞬発力)1	基礎トレーニング
2	10月14日	講義・演習	体を使つての表現(瞬発力)2	基礎トレーニング
3	10月21日	講義・演習	体を使つての表現(瞬発力)3	基礎トレーニング
4	10月28日	講義・演習	体を使つての表現(瞬発力)4	基礎トレーニング
5	11月11日	講義・演習	体を使つての表現(瞬発力)5	基礎トレーニング
6	11月18日	講義・演習	一人一人の自分見つめ1	基礎トレーニング
7	11月25日	講義・演習	一人一人の自分見つめ2	基礎トレーニング
8	12月2日	講義・演習	一人一人の自分見つめ3	基礎トレーニング
9	12月9日	講義・演習	全体としての強化1	基礎トレーニング
10	12月16日	講義・演習	全体としての強化2	基礎トレーニング
11	1月20日	講義・演習	全体としての強化3	基礎トレーニング
12	1月27日	講義・演習	全体としての強化4	基礎トレーニング
13	2月10日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	2月17日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月24日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ゼミ(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム イメージトレーニング テキストによる演技の練習、公演。						
到達目標	役に対して自分がイメージした声、滑舌、動きができるようになる。 その演技を相手役に観客に伝える。そのための公演をする。 周りの人と強調し尊敬しあう人間力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	演技について・短いテキスト本読み	本読み
2	5月29日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・色々な動き	動き(イメージトレーニング)復習
3	6月5日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・歩き・スローモーション	動き(イメージトレーニング)復習
4	6月12日	講義・演習	ストレッチ・発声・公演のための本読み	台本本読み・役を考える(オーディション)
5	6月19日	講義・演習	ストレッチ・発声・オーディション・配役	自分の役の本読み
6	6月26日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	自分の役の本読み
7	7月3日	講義・演習	ストレッチ・発声・本読み	セリフを覚える。
8	7月10日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	動きを覚える
9	7月31日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	動きを覚える・衣装を考える
10	8月21日	講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古	動きを覚える・衣装を考える
11	8月28日	講義・演習	ストレッチ・発声・通し稽古	通しの流れで出来るようにする。
12	8月7日	講義・演習	ストレッチ・発声・通し稽古	通しの流れで出来るようにする。
13	9月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・通し稽古	通しの流れで出来るようにする。
14	9月11日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月18日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ゼミ(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム イメージトレーニング テキストによる演技の練習、公演。						
到達目標	役に対して自分がイメージした声、滑舌、動きができるようになる。 その演技を相手役に観客に伝える。そのための公演をする。 周りの人と強調し尊敬しあう人間力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・公演用脚本配布	脚本下調べ・本読み
2	10月16日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	本読み・自分の役を決める。
3	10月23日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・オーディション	本読み・脚本解釈。
4	11月6日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・キャスティング・本読み	自分の役の本読み
5	11月13日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	本読み
6	11月20日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	本読み
7	11月27日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	セリフを覚える。
8	12月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	動き・演出を覚える
9	12月11日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全体練習
10	12月18日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全体練習
11	1月8日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体練習
12	1月15日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体練習
13	1月22日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体練習
14	1月29日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月12日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body expression (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	柳瀬 真澄
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催 全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演し活動している。						
授業の学習 内容	バレエレッスン(体づくりとバレエの基礎レッスン)						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身(人間)の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	体を正しい位置のためのストレッチ	基本ストレッチを確認
2	5月25日	講義・演習	足の基本ポジション	基本ストレッチと足のポジション確認
3	6月1日	講義・演習	プリエ(ひざの曲げ方)	ストレッチとプリエ確認
4	6月8日	講義・演習	タンジェ(足の前へ出し片足で立つ)	ストレッチとタンジェ確認
5	6月15日	講義・演習	デガジェ(床から足を上げる)	ストレッチとデガジェ確認
6	6月22日	講義・演習	クッペ・ルティレ(足を曲げ片足で立つ)	ストレッチとクッペ・ルティレ確認
7	6月29日	講義・演習	ライズ(かかとをあげる・背伸び)	ストレッチとライズ確認
8	7月6日	講義・演習	ロンデジャンプ(各方向へ足を回す)	ストレッチとロンデジャンプ確認
9	7月13日	講義・演習	タンリエ(体重を移動させる)	ストレッチとタンリエ確認
10	7月20日	講義・演習	ポールドブラ(手の動かし方)	ストレッチとポールドブラ確認
11	7月27日	講義・演習	ジャンプ(指をける)	ストレッチとジャンプ確認
12	8月3日	講義・演習	すべての復習	ストレッチと前期の振り返り
13	8月17日	講義・演習	前期テスト	ストレッチと前期の振り返り
14	8月24日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	8月31日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body expression (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	柳瀬真澄
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催 全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演し活動している。						
授業の学習 内容	バレエレッスン(体づくりとバレエの基礎レッスン)						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身(人間)の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期の足の基本ポジションとプリエの確認と応用、組み合わせ	タンジェ、デガジェの確認
2	10月12日	講義・演習	前期のタンジェ、デガジェの確認と応用、組み合わせ	クッペ・ルティレ、ライズの確認
3	10月19日	講義・演習	前期のクッペ・ルティレ、ライズの確認と応用、組み合わせ	ロンデジャンルの確認
4	11月9日	講義・演習	前期のロンデジャンルの確認と応用、組み合わせ	タンリエの確認
5	11月16日	講義・演習	前期のタンリエの確認と応用、組み合わせ	ポールドブラの確認
6	11月23日	講義・演習	前期のポールドブラの確認と応用、組み合わせ	ジャンプの確認
7	11月30日	講義・演習	前期のジャンプの確認と応用、組み合わせ	全ての内容を再確認
8	11月7日	講義・演習	全内容の組み合わせ	組み合わせの確認
9	11月14日	講義・演習	全内容の組み合わせ	組み合わせの確認
10	11月21日	講義・演習	全内容の組み合わせ	組み合わせの確認
11	1月18日	講義・演習	全内容の組み合わせ	組み合わせの確認
12	1月25日	講義・演習	全内容の組み合わせ	組み合わせの確認
13	2月1日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	2月8日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演技ファンダメンタル(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大塚 智則
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は16年、外国作品の吹替えが主で、現在1700本以上に出演。声優の傍ら外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。講師歴は10年以上、プロとしてデビューさせた生徒は200人を超える。声優で結成したNPO法人Pastel・switchの理事も兼任している。						
授業の学習 内容	秩序と方法論とエチュード、状況的感情の抜粋再現、感情とコミュニケーション能力を養うエクササイズを軸に所々にインプロを織り交ぜながら、状況を楽しめる訓練を実施する。						
到達目標	演じるという事の目的を、エチュードや秩序と方法論、インプロ等で、互いの意識の接触の中で気付かせていく。いかに普段の生活の中に沢山のヒントが隠されているか。自身の可能性と長所も並行して確立していく。演技は再現力であること、想像と情報を駆使し、物事を高いレベルで正当化する力を、自覚できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	自己紹介	自身の自分なりの情報を用意
2	5月26日	講義・演習	感情を力に転化する1	様々な音の質感を確認する
3	6月2日	講義・演習	感情を力に転化する1	様々な音の質感を確認する
4	6月9日	講義・演習	正当化の重要性を知る。	日常動作の記憶
5	6月16日	講義・演習	正当化の重要性を知る。	日常動作の記憶
6	6月23日	講義・演習	発想転換で柔軟な思考を作る	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
7	6月30日	講義・演習	発想転換で柔軟な思考を作る	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
8	7月7日	講義・演習	情報不伝達と笑う事の重要性体験	表情筋鍛錬、確認
9	7月14日	講義・演習	情報不伝達と笑う事の重要性体験	表情筋鍛錬、確認
10	7月21日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
11	7月28日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
12	8月4日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
13	8月18日	講義・演習	前期のまとめ	自己の研鑽課程の再確認
14	8月25日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月1日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習		発声練習、滑舌練習、ファルセット(裏声)発声映画やドラマの視聴(国内外問わず)		
【使用教科書・教材・参考書】				
エチュード時、動きやすい恰好。メモ用筆記用具。				

科目名	演技ファンダメンタル(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は16年、外国作品の吹替えが主で、現在1700本以上に出演。声優の傍ら外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。講師歴は10年以上。プロとしてデビューさせた生徒は200人を超える。声優で結成したNPO法人Pastel・switchの理事も兼任している。						
授業の学習 内容	秩序と方法論とエチュード、状況的感情の抜粋再現、感情とコミュニケーション能力を養うエクササイズを軸に所々にインプロを織り交ぜながら、状況を楽しめる訓練を実施する。						
到達目標	演じるという事の目的を、エチュードや秩序と方法論、インプロ等で、互いの意識の接触の中で気付かせていく。いかに普段の生活の中に沢山のヒントが隠されているか。自身の可能性と長所も並行して確立していく。演技は再現力であること、想像と情報を駆使し、物事を高いレベルで正当化する力を、自覚できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
2	10月13日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
3	10月20日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
4	11月10日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
5	11月17日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
6	11月24日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
7	12月1日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
8	12月8日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
9	12月15日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
10	12月22日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
11	1月12日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
12	1月19日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴(国内外問わず)
13	1月26日	講義・演習	後期のまとめ	自己の研鑽課程の再確認
14	2月9日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月16日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
エチュード時、動きやすい恰好。メモ用筆記用具。				

科目名	Actor's JAZZ (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田島 あこ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TRF・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・ブリキアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演。私立、公立高校ダンス部指導。ダンススタジオインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	JAZZの基礎を身につけ、技術スキルを上げるとともに、振り付けを覚え、自己表現(個性)を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	自己紹介・JAZZクラスの目的の把握・ダンスを習得することの目的、必要性の説明・簡単なストレッチ	ストレッチ
2	5月26日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎練習	ストレッチ・基礎確認
3	6月2日	講義・演習	コンビネーション(振り付け)	ストレッチ・振り付け確認
4	6月9日	講義・演習	コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
5	6月16日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
6	6月23日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
7	6月30日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
8	7月7日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
9	7月14日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
10	7月21日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
11	7月28日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
12	8月4日	講義・演習	テスト内容の説明・課題練習	課題振り返り
13	8月18日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	8月25日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月1日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料				

科目名	Actor's JAZZ (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TRF・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演。私立、公立高校ダンス部指導。ダンススタジオインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	JAZZの基礎を身につけ、技術スキルを上げるとともに、振り付けを覚え、自己表現(個性)を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎練習	ストレッチ
2	10月13日	講義・演習	コンビネーション(振り付け)	ストレッチ
3	10月20日	講義・演習	コンビネーション(振り付け)	ストレッチ・振り付け確認
4	11月10日	講義・演習	コンビネーション(振り付け)	ストレッチ・振り付け確認
5	11月17日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
6	11月24日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
7	12月1日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け確認
8	12月8日	講義・演習	約5週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
9	12月15日	講義・演習	約5週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
10	12月22日	講義・演習	約5週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
11	1月12日	講義・演習	約5週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
12	1月19日	講義・演習	約5週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け確認
13	1月26日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	2月9日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月16日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料				

科目名	ヴォーカルテクニック(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川 麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1984年キングレコードよりTVアニメ重戦機エルガイム主題歌でデビュー。代表作は機動戦士Zガンダム主題歌「Z-刻をこえて」。他多数楽曲リリース。CM歌唱200作品。海外公演および2018年キングススーパーライブ@東京ドーム出演。様々な活動をしている。						
授業の学習 内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ガイダンス～授業の流れ、選曲、発声	選曲オケ・歌詞カード準備・作成
2	5月26日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	6月2日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	6月9日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	6月16日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	6月23日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	6月30日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	7月7日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	7月14日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	7月21日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	7月28日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	8月4日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	8月18日	講義・演習	歌唱テスト	後期に向けての選曲・歌詞カード準備・作成
14	8月25日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月1日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
各自選曲のオケ、歌詞カード(2部プリントアウト) 用意して下さい。				

科目名	ヴォーカルテクニック(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1984年キングレコードよりTVアニメ重戦機エルガイム主題歌でデビュー。代表作は機動戦士Zガンダム主題歌「Z刻をこえて」。他多数楽曲リリース。CM歌唱200作品。海外公演および2018年キングススーパーライブ@東京ドーム出演。様々な活動をしている。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
2	10月13日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	10月20日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	11月10日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	11月17日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	11月24日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	12月1日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	12月8日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	12月15日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	12月22日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	1月12日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	1月19日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	1月26日	講義・演習	歌唱テスト	1年の振り返り
14	2月9日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月16日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
各自選曲のオケ、歌詞カード(2部プリントアウト) 用意して下さい。				

科目名	エチュード (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1992年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演。						
授業の学習 内容	多種多様なエチュードを通して、自分自身を知り、日々の観察力や想像力、発想力を養っていく						
到達目標	自分の直感を信じて、自信をもって表現できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	自己紹介からのシアターゲーム	人とふれる
2	5月27日	講義・演習	リラックスして声を出す	声の出し方確認
3	6月3日	講義・演習	1人エチュード。自分を観察する	自分の観察
4	6月10日	講義・演習	2人エチュード。相手を意識する	自分の観察
5	6月17日	講義・演習	「静」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
6	6月24日	講義・演習	「動」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
7	7月1日	講義・演習	「音」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
8	7月8日	講義・演習	「会話」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
9	7月15日	講義・演習	「視線」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
10	7月22日	講義・演習	空間のイメージ	空間のイメージ復習
11	7月29日	講義・演習	展開を考える	展開を考える復習
12	8月5日	講義・演習	ショートストーリーの起承転結	起承転結の振り返り
13	8月19日	講義・演習	キャラクター作り	キャラクターの振り返り
14	8月26日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月2日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習			日常生活に興味を持つ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	エチュード(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1992年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演。						
授業の学習 内容	エチュードを通して、瞬発力と応用力を養っていく						
到達目標	「テーマ」に対して、アクションやリアクションを瞬時に取ることができる 相手の想像力を引き出す力を身につけることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	演技しないでいること	今日の振り返り
2	10月14日	講義・演習	言葉を使ったエチュード	今日の振り返り
3	10月21日	講義・演習	言葉を使わないエチュード	今日の振り返り
4	11月11日	講義・演習	自己発見と他己発見	今日の振り返り
5	11月18日	講義・演習	言葉重視のエチュード	今日の振り返り
6	11月25日	講義・演習	身体の動き重視のエチュード	今日の振り返り
7	12月2日	講義・演習	感情重視のエチュード	今日の振り返り
8	12月9日	講義・演習	多人数で演技することに慣れる	今日の振り返り
9	12月16日	講義・演習	多人数で演技することに慣れる	今日の振り返り
10	1月10日	講義・演習	仲間と一緒にストーリーを展開させる	今日の振り返り
11	1月13日	講義・演習	仲間と一緒にストーリーを展開させる	今日の振り返り
12	1月20日	講義・演習	仲間と一緒にストーリーを展開させる	今日の振り返り
13	1月27日	講義・演習	観客の想像力にゆだねる	今日の振り返り
14	2月14日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	オーディション対策(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	実由
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、数々のオーディションを経て、DJMC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	授業説明	授業振り返り
2	5月27日	講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3	6月3日	講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4	6月10日	講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5	6月17日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
6	6月24日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
7	7月1日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
8	7月8日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
9	7月15日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
10	7月22日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
11	7月29日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
12	8月5日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
13	8月19日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	8月26日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月2日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習			毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	オーディション対策(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	実由
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、数々のオーディションを経て、DJMC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2	10月14日	講義・演習	模擬オーディションCM	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3	10月21日	講義・演習	模擬オーディションCM	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4	11月11日	講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5	11月18日	講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6	11月25日	講義・演習	模擬オーディション映画	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7	12月2日	講義・演習	模擬オーディション映画	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8	12月9日	講義・演習	模擬オーディション舞台	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9	12月16日	講義・演習	模擬オーディションアニメ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10	1月10日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11	1月13日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12	1月20日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13	1月27日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	2月14日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクション基礎 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習内容	立ちっぱなし、座りっぱなしで演技は出来ません。突飛ばされたりや転び等の動きを怪我無く繰り返し演じる事ができるようになるためにマットを使って転がり方から身の守り方である各種の受け身を身につけていく。						
到達目標	倒れる、倒す演技を安全かつ臨場感を失わずに演じる事ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	自己紹介、注意事項説明、アクションとは… マット運動(でんぐり返し)	柔軟、筋トレ
2	5月27日	講義・演習	マット運動(前転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
3	6月3日	講義・演習	マット運動(右起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
4	6月10日	講義・演習	マット運動(左起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
5	6月17日	講義・演習	マット運動(右受け身)	前週の復習、柔軟、筋トレ
6	6月24日	講義・演習	マット運動(左起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
7	7月1日	講義・演習	マット運動(横転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
8	7月8日	講義・演習	マット運動(後転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
9	7月15日	講義・演習	マット運動(アクション後転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
10	7月22日	講義・演習	投げると横転の組み合わせ	前週の復習、柔軟、筋トレ
11	7月29日	講義・演習	膝から崩れ落ちる、その場に倒れる	前週の復習、柔軟、筋トレ
12	8月5日	講義・演習	前期の振り返り、殺人事件を演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
13	8月19日	講義・演習	前期の振り返り、殺人事件を演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
14	8月26日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月2日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクション基礎 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習内容	アクションとは本来(行動、動作)を意味する英語ですが、日本では暴力全般を指します。一口に暴力と言っても、殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ、等多義に渡り、役(キャラクター)によってもその行動は全く変わってきます。まずは主な素手、蹴り、其に伴うアクション、後半は木刀を使って時代劇における刀を刃物としながら安全に扱う方法を学びます。						
到達目標	暴力と痛みを表現する為に必要な技術と演技、木刀を刃物として扱う技術と演技を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	拳の作り方、構え、足運び	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
2	10月14日	講義・演習	殴り(顔)、リアクション(顔)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
3	10月21日	講義・演習	殴り(腹)、リアクション(腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
4	11月11日	講義・演習	空手の防御(上段受け、内受け、外受け、下段受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
5	11月18日	講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
6	11月25日	講義・演習	空手の蹴り1(前蹴り、蹴り上げ、回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
7	12月2日	講義・演習	帯の結び方、抜刀、正眼、納刀	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
8	12月9日	講義・演習	素振り1(面、左右面、袈裟斬り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
9	12月16日	講義・演習	素振り2(抜き胴、突き、真っ向)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
10	1月10日	講義・演習	打ち込み(空打ち、振り返る)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
11	1月13日	講義・演習	打ち込みから剣を払われる(右、左)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
12	1月20日	講義・演習	打ち込まれた剣を払われると剣を払う	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
13	1月27日	講義・演習	テスト	実技の振り返り
14	2月14日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	声優基礎実習(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)として活動						
授業の学習 内容	マイクテクニック実習						
到達目標	マイク前で緊張せずに表現する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	自己紹介。授業説明	説明確認
2	5月28日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
3	6月4日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
4	6月11日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
5	6月18日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
6	6月25日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
7	7月2日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
8	7月9日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
9	7月16日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
10	7月30日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
11	8月20日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
12	8月6日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
13	8月27日	講義・演習	テスト	課題練習
14	9月3日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月10日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	声優基礎実習(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)として活動						
授業の学習 内容	マイク前での表現収録						
到達目標	マイクの前で自分らしい表現をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ボイサン対策	原稿用意
2	10月15日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
3	10月22日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
4	11月5日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
5	11月12日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
6	11月19日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
7	11月26日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
8	12月3日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
9	12月10日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
10	12月17日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
11	1月7日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
12	1月14日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
13	1月21日	講義・演習	テスト	1年間の振り返り
14	1月28日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月11日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	舞台舞踏史・脚本解釈(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋 祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマの中心メンバーとして活動。 退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・プリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習 内容	今日の演劇・映画他のエンターテインメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエンターテインメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。演劇・舞踊などの舞台芸術の歴史を時代性・社会性と舞台芸術の成り立ちと特徴、代表的な作家、作品を紹介していくと同時に、それぞれの名作と言われる脚本を取り上げ実際に読み進めることにより、脚本の読解力を高め、演技者としての創造的インテリジェンスを獲得するのを目的とします。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより、 受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生かせる知識を獲得することを目標とします。 さらに、昨今、若年層の読書量が減っているとされています。 台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深めていくことを目指します。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	ガイドダンスなぜ歴史を学ぶのか？ ～それぞれの時代の社会の鏡としての舞台芸術～	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	5月25日	講義・演習	演劇の起源～古代ギリシャ ～演劇・舞台芸術の形態と特徴～	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	6月1日	講義・演習	シェイクスピアの登場。 その時代の演劇・舞台芸術の形態と特徴	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
4	6月8日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる① 「ロミオとジュリエット」を観て読む。	テキストの熟読 予習復習
5	6月15日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる② 「ロミオとジュリエット」を観て読む。	テキストの熟読 予習復習
6	6月22日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる③ 「ロミオとジュリエット」を観て読む。	テキストの熟読 予習復習
7	6月29日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる④ 「ロミオとジュリエット」を観て読む。	テキストの熟読 予習復習
8	7月6日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる⑤ 「ロミオとジュリエット」を観て読む。	テキストの熟読 予習復習
9	7月13日	講義・演習	日本の伝統芸、日本の中世の演劇形態、能・狂言の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	7月20日	講義・演習	歌舞伎 文楽の歴史と形態①歌舞伎の登場・変遷	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	7月27日	講義・演習	歌舞伎 文楽の歴史と形態②歌舞伎の名作紹介Ⅰ	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	8月3日	講義・演習	歌舞伎 文楽の歴史と形態③歌舞伎の名作紹介Ⅱ	前期課題レポートへの対応。
13	8月17日	講義・演習	前期まとめ。古代から中世の舞台芸術を振り返る。	前期講義の総括、まとめ
14	8月24日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	8月31日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踏史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	舞台舞踏史・脚本解釈(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマの中心メンバーとして活動。退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習内容	今日の演劇・映画他のエンターテインメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエンターテインメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。演劇・舞踊などの舞台芸術の歴史を時代性・社会性と舞台芸術の成り立ちと特徴、代表的な作家、作品を紹介していくと同時に、それぞれの名作と言われる脚本を取り上げ実際に読み進めることにより、脚本の読解力を高め、演技者としての創造的インテリジェンスを獲得するのを目的とします。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより、受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生かせる知識を獲得することを目標とします。 さらに、昨今、若年層の読書量が減っているとされています。 台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深めていくことを目指します。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	近代劇Ⅰ イブセンとチェーホフ 様々な劇作家たち①	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	10月12日	講義・演習	近代劇Ⅱ イブセンとチェーホフ 様々な劇作家たち②	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	10月19日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」を読む	テキストの熟読 予習復習
4	11月9日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」を読む	テキストの熟読 予習復習
5	11月16日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」を読む	テキストの熟読 予習復習
6	11月23日	講義・演習	近代劇Ⅲ アメリカ演劇史Ⅰ ブロードウェイ演劇	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
7	11月30日	講義・演習	近代劇Ⅲ アメリカ演劇史Ⅱ アメリカのミュージカルの流行	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
8	11月7日	講義・演習	近代劇Ⅲ アメリカ演劇史Ⅲ ハリウッド映画の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
9	11月14日	講義・演習	日本近代演劇史Ⅰ ヨーロッパ文化の流入 新劇の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	11月21日	講義・演習	日本近代演劇史～日本文学・演劇の流れ。 日本映画～テレビ文化へ	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	1月18日	講義・演習	日本現代演劇Ⅲ アンクラ演劇 小劇場演劇の時代～新たな劇的エネルギー～	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	1月25日	講義・演習	日本現代演劇現 代演劇事情 2.5次元演劇の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと
13	2月1日	講義・演習	後期講義を振り返って「舞台芸術の将来」	後期の総括 1年の講義を振り返って
14	2月8日	講義・演習	進級公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月15日	講義・演習	進級公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踏史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	舞台舞踏史 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマの中心メンバーとして活動。退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習 内容	今日の演劇・映画他のエンターテインメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエンターテインメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。演劇・舞踊などの舞台芸術の歴史を、古代・中世・近代・現代と4つの時代に分け、それぞれの時代性・社会性と舞台芸術の成り立ちと特徴、代表的な作家、作品を紹介していきます。この講義後の「脚本解釈」の講義とも連動し戯曲、脚本に触れていくこともしていきます。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより。受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生かせる知識を獲得することを目標とします。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ガイドス「なぜ歴史を学ぶのか？ ～それぞれの時代の社会の鏡としての舞台芸術」	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	4月22日	講義・演習	演劇の起源～古代ギリシャ ～ローマ時代と演劇・舞台芸術の形態と特徴①	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	5月13日	講義・演習	演劇の起源～古代ギリシャ ～ローマ時代と演劇・舞台芸術の形態と特徴②	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
4	5月20日	講義・演習	中世の演劇と宗教劇、イタリアルネサンス、 オペラの誕生、演劇・舞台芸術の形態と特徴①	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
5	5月27日	講義・演習	中世の演劇と宗教劇、イタリアルネサンス、 オペラの誕生、演劇・舞台芸術の形態と特徴②	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
6	6月3日	講義・演習	日本の伝統芸能、日本の芸能・能・狂言の発生① 観阿弥、世阿弥の登場。「花伝書」に触れる。	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
7	6月10日	講義・演習	日本の伝統芸、日本の中世の演劇形態・能・狂言の発生 ②「狂言」に触れる	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
8	6月17日	講義・演習	シェイクスピアの登場。 その時代の演劇・舞台芸術の形態と特徴①	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
9	6月24日	講義・演習	シェイクスピアの登場。 その時代の演劇・舞台芸術の形態と特徴②	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	7月1日	講義・演習	シェイクスピアの登場。 その時代の演劇・舞台芸術の形態と特徴③	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	7月8日	講義・演習	舞踏史 バレエとは… バレエの歴史。バレエの名作の解説。	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	7月22日	講義・演習	前期まとめ。古代から中世の舞台芸術を振り返る。	前期講義の総括、まとめ
13	9月2日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月9日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月16日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踏史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	舞台舞踏史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団シヨーマの中心メンバーとして活動。退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習内容	今日の演劇・映画他のエンターテインメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエンターテインメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。演劇・舞踊などの舞台芸術の歴史を、古代、中世・近代・現代と4つの時代に分け、それぞれの時代性・社会性と舞台芸術の成り立ちと特徴、代表的な作家、作品を紹介していきます。この講義後の「脚本解釈」の講義とも連動し戯曲、脚本に触れていくこともしていきます。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより。受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生かせる知識を獲得することを目標とします。						
評価方法基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	歌舞伎 文案の歴史と形態①歌舞伎の登場・変遷	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	10月14日	講義・演習	歌舞伎 文案の歴史と形態 ②歌舞伎の名作紹介Ⅰ	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	10月21日	講義・演習	歌舞伎 文案の歴史と形態 ②歌舞伎の名作紹介Ⅱ	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
4	10月28日	講義・演習	近代劇Ⅰ イブセンとチェーホフ 様々な劇作家たち①	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
5	11月11日	講義・演習	近代劇Ⅱ イブセンとチェーホフ 様々な劇作家たち②	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
6	11月18日	講義・演習	近代劇Ⅲ アメリカ演劇史 アメリカのミュージカルの流行	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
7	11月25日	講義・演習	近代劇Ⅳ アメリカ演劇史 ハリウッド映画の発生。	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
8	12月2日	講義・演習	日本近代演劇史Ⅰ ヨーロッパ文化の流入 新劇の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
9	12月9日	講義・演習	日本近代演劇史Ⅱ 戦後～日本文学・演劇の流れ。 日本映画～テレビジョン文化へ。	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	12月16日	講義・演習	日本現代演劇Ⅲ アンクラ演劇 小劇場演劇の時代～新たな劇的エネルギー～	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	1月20日	講義・演習	日本現代演劇Ⅳ 現代演劇事情 2.5次元演劇の発生	事前に教科書の項目を把握しておくこと 講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	1月27日	講義・演習	後期講義を振り返って「舞台芸術の将来」	後期の総括 1年の講義を振り返って
13	2月10日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	2月17日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月24日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踏史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	脚本解釈 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマの中心メンバーとして活動。退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習内容	戯曲、シナリオ、台本、脚本、呼び方は形態によりいろいろ変わりますが、ギリシャ悲劇、シェイクスピアなどの古典から現代作品を実際に取り組み、作品の解釈、作家の込めた意図などを探求する実践的講義とします。						
到達目標	演技者が読み、憶え、演じ、作品として成立させるために最も重要な脚本。 脚本の読解力を高め一流の演技者としての演劇的・創造的インテリジェンスを獲得するのを目的とします。 昨今、若年層の読書量が減っているとされています。台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深めていくことを目指します。						
評価方法基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	「脚本解釈のイロハ」① ～戯曲、シナリオ、テレビ台本・様々な形態の脚本。	前期ガイダンス
2	4月22日	講義・演習	「脚本解釈のイロハ」② ～戯曲、シナリオ、テレビ台本・様々な形態の脚本。	配布テキストの 予習
3	5月13日	講義・演習	ギリシア悲劇に触れる… 「オイディプス王」の世界全3回 ①	配布テキストの 予習
4	5月20日	講義・演習	ギリシア悲劇に触れる… 「オイディプス王」の世界全3回 ②	配布テキストの 予習
5	5月27日	講義・演習	ギリシア悲劇に触れる… 「オイディプス王」の世界全3回 ③	配布テキストの 予習
6	6月3日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読む… シェイクスピア「ロミオとジュリエット」全5回 ①	テキストの熟読 予習復習
7	6月10日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読む… シェイクスピア「ロミオとジュリエット」全5回 ②	テキストの熟読 予習復習
8	6月17日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読む… シェイクスピア「ロミオとジュリエット」全5回 ③	テキストの熟読 予習復習
9	6月24日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読む… シェイクスピア「ロミオとジュリエット」全5回 ④	テキストの熟読 予習復習
10	7月1日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読む… シェイクスピア「ロミオとジュリエット」全5回 ⑤	テキストの熟読 予習復習
11	7月8日	講義・演習	ミュージカルへのいざない 有名作品の解説① レポート課題提示	配布テキストの 予習
12	7月22日	講義・演習	ミュージカルへのいざない 有名作品解説②	配布テキストの 予習
13	9月2日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月9日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	9月16日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踊史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	脚本解釈 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部 演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマの中心メンバーとして活動。退団後、NWS、トップコート、クオーレ所属を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数のプロデュース舞台公演、映画、テレビドラマ、CMに出演。						
授業の学習 内容	戯曲、シナリオ、台本、脚本、呼び方は形態によりいろいろ変わりますが、ギリシャ悲劇、シェイクスピアなどの古典から現代作品を実際に読み、作品の解釈、作家の込めた意図などを探求する実践的講義とします。						
到達目標	演技者が読み、憶え、演じ、作品として成立させるために最も重要な脚本。脚本の読解力を高め一流の演技者としての演劇的・創造的インテリジェンスを獲得するのを目的とします。昨今、若年層の読書量が減っていると言われていいます。台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深めていくことを目指します						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読むⅡ… シェイクスピア「夏の夜の夢」全5回 ①	テキストの熟読 予習復習
2	10月14日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読むⅡ… シェイクスピア「夏の夜の夢」全5回 ②	テキストの熟読 予習復習
3	10月21日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読むⅡ… シェイクスピア「夏の夜の夢」全5回 ③	テキストの熟読 予習復習
4	10月28日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読むⅡ… シェイクスピア「夏の夜の夢」全5回 ④	テキストの熟読 予習復習
5	11月11日	講義・演習	シェイクスピア戯曲を読むⅡ… シェイクスピア「夏の夜の夢」全5回 ⑤	テキストの熟読 予習復習
6	11月18日	講義・演習	チェーホフを読む 「三人姉妹」を読む全4回①	テキストの熟読 予習復習
7	11月25日	講義・演習	チェーホフを読む 「三人姉妹」を読む全4回②	テキストの熟読 予習復習
8	12月2日	講義・演習	チェーホフを読む 「三人姉妹」を読む全4回③	テキストの熟読 予習復習
9	12月9日	講義・演習	チェーホフを読む 「三人姉妹」を読む全4回④	テキストの熟読 予習復習
10	12月16日	講義・演習	現代 日本演劇戯曲に触れる①	テキストの熟読 予習復習
11	1月20日	講義・演習	現代 日本演劇戯曲に触れる② 後期レポート課題提示	テキストの熟読 予習復習
12	1月27日	講義・演習	まとめ 後期講義を振り返って 後期レポート提出期限	1年間の総括
13	2月10日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	2月17日	講義・演習	中間公演 稽古	台本理解、稽古、衣装準備
15	2月24日	講義・演習	中間公演	立ち位置の確認、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①TSM 舞台舞踊史 教科書 ②配布資料 ③ビデオ鑑賞 等				

科目名	BasicKeyboard(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員: 加藤エレナ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年					
授業の学習 内容	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。					
到達目標	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	使用楽器(キーボード)の特徴を知り、演奏における姿勢、指番号、音の位置、譜面の基礎知識を学ぶ。	鍵盤においてドレミファソラシドの位置を予習。
2	5月28日	講義・演習	Key=Cのスケール、運指、左右の動き、クロマチックの進み方、タッチについて	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	6月4日	講義・演習	Key=Cダイアトニックコードについて展開形と循環コードワーク	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	6月11日	講義・演習	曲:① 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	6月18日	講義・演習	曲:① 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	6月25日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	7月2日	講義・演習	曲:② 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	7月9日	講義・演習	曲:② 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	7月16日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	7月30日	講義・演習	曲:③ 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	8月6日	講義・演習	曲:③ 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	8月20日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	8月27日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
14	9月3日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
15	9月10日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
準備学習 時間外学習			譜面、コードについて予習、復習をする。課題。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	BasicKeyboard(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員: 加藤エレナ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年					
授業の学習 内容	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。					
到達目標	前期の基礎を生かして演奏方法の応用力をつけ、簡単な伴奏によく弾き歌いができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	曲:① 譜面配布。演奏方法、前半 クリシェ進行、オンコードについて	鍵盤においてドレミファソラシドの位置を予習。
2	10月15日	講義・演習	曲:① 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	11月5日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	11月12日	講義・演習	曲:② 譜面配布。演奏方法、前半 簡単なテンションコードについて。	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	11月19日	講義・演習	曲:② 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	11月26日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	12月3日	講義・演習	曲:③ 譜面配布 演奏方法、前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	12月10日	講義・演習	曲:③ 譜面配布。後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	12月17日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	1月7日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	1月14日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	1月21日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	1月28日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
14	2月11日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
15	2月18日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	声優総合実習(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	岩永 哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ピースウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)等、様々な作品にて活動						
授業の学習 内容	ボイスサンプル実習。朗読。アフレコ。オーディション対策。						
到達目標	プロダクションへの所属、準所属。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数回数	日程日程	授業形態授業形態	学習内容学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	授業内容の説明。1年時ボイスの反省と対策。	反省を振り返り、今後の取り組みを考える
2	5月28日	講義・演習	ヴォイスサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
3	6月4日	講義・演習	ヴォイスサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
4	6月11日	講義・演習	ヴォイスサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
5	6月18日	講義・演習	ヴォイスサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
6	6月25日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
7	7月2日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
8	7月9日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
9	7月16日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
10	7月30日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
11	8月20日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
12	8月6日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
13	8月27日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
14	9月3日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月10日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	声優総合実習(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	岩永 哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ) ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク・イシュタール) ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎(鬼蜘蛛丸) ○ツバサ・クロニクル(蒼石) ○ピースウォーズ 超生命体トランスフォーマー(エアラザー)等、様々な作品にて活動						
授業の学習 内容	ボイスサンプル実習。朗読。アフレコ。オーディション対策。						
到達目標	プロダクションへの所属、準所属。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数回数	日程日程	授業形態授業形態	学習内容学習内容	学習 時間外学習(学習課題)準備学習 時間外学習(学習
1	10月8日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの原稿を作成
2	10月15日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
3	10月22日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
4	11月5日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
5	11月12日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
6	11月19日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
7	11月26日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習朗
8	12月3日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
9	12月10日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
10	12月17日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
11	1月7日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
12	1月14日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
13	1月21日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
14	1月28日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月11日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	MC・レポーター実習 (3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	実由
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1996年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業。在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、レポーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習 内容	タレントとしてバラエティ番組などで必要とされるトーク(フリートーク・レポート・番宣告知など) イベントステージでのMC、ラジオDJ、それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	授業説明	授業振り返り
2	5月27日	講義・演習	フリートーク アイテム紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
3	6月3日	講義・演習	フリートーク アイテム紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
4	6月10日	講義・演習	フリートーク 作品紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
5	6月17日	講義・演習	フリートーク 作品紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
6	6月24日	講義・演習	告知 番宣トーク(グループ5分)	作品のあらすじや番組内容等情報収集
7	7月1日	講義・演習	告知 番宣トーク(グループ5分)	作品のあらすじや番組内容等情報収集
8	7月8日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
9	7月15日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
10	7月22日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
11	7月29日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べ
12	8月5日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べ
13	8月19日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	8月26日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月2日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	MC・レポーター実習 (4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	実由
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1996年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業。在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、レポーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習 内容	タレントとしてバラエティー番組などで必要とされるトーク(フリートーク・レポート・番宣告知など)イベントステージでのMC、ラジオDJ、それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	レポートする場所の情報などを収集
2	10月14日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
3	10月21日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
4	11月11日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	レポートする場所の情報などを収集
5	11月18日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
6	11月25日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
7	12月2日	講義・演習	MC演習(ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
8	12月9日	講義・演習	MC演習(ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
9	12月16日	講義・演習	MC演習(ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
10	1月10日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
11	1月13日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
12	1月20日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
13	1月27日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	2月14日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's JAZZ (3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	田島 あこ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TRF・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノスタイルMV・明治安田生命CM出演。私立、公立高校ダンス部指導。ダンススタジオインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	一年次に身につけた基礎を応用し、技術や自己表現力の向上を目指すとともに個人やチームでの創造性を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	二年度での内容説明 ・ストレッチ・アイソレーション等の基礎練習	ストレッチ
2	5月26日	講義・演習	基礎練習・クロスフロア	ストレッチ
3	6月2日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション(振り付け)	ストレッチ・振り付け
4	6月9日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
5	6月16日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
6	6月23日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
7	6月30日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
8	7月7日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
9	7月14日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
10	7月21日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
11	7月28日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
12	8月4日	講義・演習	テスト内容の説明・課題練習	課題振り返り
13	8月18日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	8月25日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月1日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's JAZZ (4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	田島 あこ
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TRF・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノスタイルMV・明治安田生命CM出演。私立、公立高校ダンス部指導。ダンススタジオインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	一年次に身につけた基礎を応用し、技術や自己表現力の向上を目指すとともに個人やチームでの創造性を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎練習	ストレッチ
2	10月13日	講義・演習	基礎練習・クロスフロア等	ストレッチ
3	10月20日	講義・演習	コンビネーション	ストレッチ・振り付け
4	11月10日	講義・演習	コンビネーション	ストレッチ・振り付け
5	11月17日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
6	11月24日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
7	12月1日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・振り付け
8	12月8日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
9	12月15日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
10	12月22日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
11	1月12日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	ストレッチ・振り付け
12	1月19日	講義・演習	課題練習	課題振り返り
13	1月26日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's ヴォイストレーニング(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林香央 里
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして活動している。au・ポカリスエットのCMレコーディングや、本格フィギュアスケートアニメ「ユーリ!!! on ICE」の幕張メッセにて行われたコンサートにゲストアーティストとして出演している。						
授業の学習 内容	歌を通じて、表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	ガイダンス、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
2	5月28日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
3	6月4日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
4	6月11日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
5	6月18日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
6	6月25日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
7	7月2日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
8	7月9日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
9	7月16日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
10	7月30日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
11	8月20日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
12	8月6日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
13	8月27日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月3日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月10日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's ヴォイストレーニング(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林香央 里
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして活動している。au・ポカリスエットのCMレコーディングや、本格フィギュアスケートアニメ「ユーリ!!! on ICE」の幕張メッセにて行われたコンサートにゲストアーティストとして出演している。						
授業の学習 内容	歌を通じて、表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	姿勢の確認
2	10月15日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	姿勢の確認
3	10月22日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
4	11月5日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
5	11月12日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
6	11月19日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
7	11月26日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
8	12月3日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
9	12月10日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
10	12月17日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
11	1月7日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
12	1月14日	講義・演習	まとめ、外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	課題曲練習
13	1月21日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	1月28日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月11日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ラジオプロジェクト(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	ピクチャー青山スタジオでのマスタリング・エンジニアを経てラジオ業界にて活動。ディレクターとパーソナリティーを務め、有名企業のCMナレーションも担当。						
授業の学習 内容	ラジオ番組の企画、構成。ナレーションの滑舌とイントネーション。フリートークのスキルアップ。PRO TOOLSの基本操作。ナレーション編集。音楽編集。パンチ・インとトラックダウン。						
到達目標	ラジオ番組の企画、制作を通して、原稿読みの正確さとフリートークの組み立て、話のまとめ方を学ぶ。さらに、収録したナレーションや楽曲をPRO TOOLSを使い、編集したりトラックダウンできるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	シラバス確認 前年度番組試聴 全員のトークレベル確認	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
2	5月25日	講義・演習	スタジオのシステム構成 講義 AMとFM ステレオの定位 ナレーション練習	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
3	6月1日	講義・演習	プロツールの基本操作 ナレーション収録 ニュース原稿	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
4	6月8日	講義・演習	プロツールの ナレーション編集 マイクの種類 ダイナミックマイク 低音カット 近接効果	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
5	6月15日	講義・演習	プロツールの ナレーション編集 マイクの種類 コンデンサーマイク 指向性	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
6	6月22日	講義・演習	プロツールの 音楽編集 収録番組のシミュレーション 告知原稿 コマーシャル	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
7	6月29日	講義・演習	プロツールの 音楽編集 TFM 番組企画案	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
8	7月6日	講義・演習	プロツールの 音楽編集 TFM 番組構成と打ち合わせ	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
9	7月13日	講義・演習	TFM 番組収録 その1	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
10	7月20日	講義・演習	TFM 番組収録 その2	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
11	7月27日	講義・演習	TFM 番組収録 その3	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
12	8月3日	講義・演習	TFM 番組収録 その4	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
13	8月17日	講義・演習	収録番組試聴 前期授業のまとめと試験	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
14	8月24日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	8月31日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ラジオプロジェクト(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	ピクチャー青山スタジオでのマスタリング・エンジニアを経てラジオ業界にて活動。ディレクターとパーソナリティーを務め、有名企業のCMナレーションも担当。						
授業の学習 内容	ラジオ番組の企画、構成。ナレーションの滑舌とイントネーション。フリートークのスキルアップ。PRO TOOLSの基本操作。ナレーション編集。音楽編集。パンチ・インとトラックダウン。						
到達目標	ラジオ番組の企画、制作を通して、原稿読みの正確さとフリートークの組み立て、話のまとめ方を学ぶ。さらに、収録したナレーションや楽曲ををPRO TOOLSを使い、編集したりトラックダウンできるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	講義 放送用語 収録と生放送の違い ナレーション練習	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
2	10月12日	講義・演習	PRO TOOLS 歌の収録とパンチ・イン ジングル作成	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
3	10月19日	講義・演習	PRO TOOLS 歌の収録とパンチ・イン ジングル作成	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
4	11月9日	講義・演習	PRO TOOLS マトリクス エコーとミックスダウン 放送シミュレーション	生 ラジオ番組を聞いて、レポート提出
5	11月16日	講義・演習	PRO TOOLS マトリクス エコーとミックスダウン 放送シミュレーション	生 ラジオ番組を聞いて、レポート提出
6	11月23日	講義・演習	PRO TOOLS 音楽編集 TFM 番組企画案	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
7	11月30日	講義・演習	PRO TOOLS 音楽編集 TFM 番組構成と打ち合わせ	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
8	11月7日	講義・演習	TFM 番組収録 その1	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
9	11月14日	講義・演習	TFM 番組収録 その2	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
10	11月21日	講義・演習	TFM 番組収録 その3	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
11	1月18日	講義・演習	収録番組の試聴 後期のまとめと試験	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
12	1月25日	講義・演習	収録番組の試聴 後期のまとめと試験	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
13	2月1日	講義・演習	1年間のまとめ フリートーク収録	ラジオ番組を聞いて、レポート提出
14	2月8日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アテレコ (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本浩志
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	声優として映画・アニメ多数、テレビ映像、舞台ミュージカル、TDSホテルミラコスタ結婚式司会、プライダルショーキャストとして活動						
授業の学習 内容	アテレコ実習を通して表現者としてのスキルを身に付ける。 それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や世界観などを正しく理解、解釈が出来、それを表現する力を習得させる。 スタジオでのマナーも共に学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アフレコ・吹き替えの歴史から現状までを知る。	発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
2	5月25日	講義・演習	マイクを使ってマイクワークや機材の特性などを感覚的に身に付ける。この時期で教材選びをする。	発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
3	6月1日	講義・演習	マイクを使ってマイクワークや機材の特性・マイク距離を感覚的に身に付ける。	アクセント・滑舌の見直し
4	6月8日	講義・演習	読み合わせなどをしながら解釈・表現・会話演技を体験する。	アクセント・滑舌の見直し
5	6月15日	講義・演習	読み合わせなどをしながら解釈・表現・会話演技を体験する。	理解できなかった感情やシーンを再考する
6	6月22日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、問題点や強みなどを客観的に評価する力を身に付けさせる。	理解できなかった感情やシーンを再考する
7	6月29日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、問題点や強みなどを客観的に評価する力を身に付けさせる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
8	7月6日	講義・演習	アフレコした内容をチェックし、細かい修正を重ねる。 また自身のアイデアを反映させる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
9	7月13日	講義・演習	アフレコした内容をチェックし、細かい修正を重ねる。 また自身のアイデアを反映させる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
10	7月20日	講義・演習	キャラクターの感情や動き、距離などを表現できているか再確認しながら実習を重ねる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
11	7月27日	講義・演習	キャラクターの感情や動き、距離などを表現できているか再確認しながら実習を重ねる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
12	8月3日	講義・演習	キャラクターの感情や動き、距離などを表現できているか再確認しながら実習を重ねる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当たってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
13	8月17日	講義・演習	課題の実技にて採点	どの配役でも対応出来るように全役を想定した予習をする事
14	8月24日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	8月31日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典・アフレコ実習台本				

科目名	アテレコ (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本浩志
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	声優として外画・アニメ多数、テレビ映像、舞台ミュージカル、TDSホテルミラコスタ結婚式司会、プライダルショーキャストとして活動						
授業の学習 内容	アテレコ実習を通して表現者としてのスキルを身に付ける。 それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や世界観などを正しく解釈し、それを表現する力を習得させる。 スタジオでのマナーも共に学ぶ。 また将来に向けたプロ意識を持たせる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	新しい題材を使ってアフレコ実習を重ね、スキルアップを図りながらプロ意識を植え付ける。	改めての発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
2	10月12日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、演技のスキルアップを図りながらプロ意識を植え付ける。	よりリアリティのある表現力を身に付ける為に舞台や映画などを観て参考にしたり、リアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力を養う。
3	10月19日	講義・演習	演技のスキルアップを図りながらプロ意識を植え付ける。競争意識を持たせる。	よりリアリティのある表現力を身に付ける為に舞台や映画などを観て参考にしたり、リアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力を養う。
4	11月9日	講義・演習	演技のスキルアップを図りながらプロ意識を植え付ける。競争意識を持たせる。	よりリアリティのある表現力を身に付ける為に舞台や映画などを観て参考にしたり、リアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力を養う。
5	11月16日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つける。またキャラ数を増やすレッスン	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちであらゆる時代、広い幅の作品を鑑賞して表現の参考にする。
6	11月23日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つける。またキャラ数を増やすレッスン	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちであらゆる時代、広い幅の作品を鑑賞して表現の参考にする。
7	11月30日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つける。またキャラ数を増やすレッスン	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちであらゆる時代、広い幅の作品を鑑賞して表現の参考にする。
8	11月7日	講義・演習	オーディションも視野に入れながらのアフレコ実習。個性・魅力ある人材育成。	プロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
9	11月14日	講義・演習	オーディションも視野に入れながらのアフレコ実習。個性・魅力ある人材育成。	プロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
10	11月21日	講義・演習	オーディションも視野に入れながらのアフレコ実習。個性・魅力ある人材育成。	プロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
11	1月18日	講義・演習	アフレコ実習で自分自身の目標達成や問題改善が出来るか？チェック！	プロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
12	1月25日	講義・演習	アフレコ実習で自分自身の目標達成や問題改善が出来るか？チェック！	プロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
13	2月1日	講義・演習	課題の実技にて採点	どの配役でも対応出来るように全役を想定した予習をする事
14	2月8日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典・アフレコ実習台本				

科目名	Actor's HIP HOP(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	EMIKO
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インストラクター歴12年(TSM8年)						
授業の学習 内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体を知り強化する ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③DANCEを特技とし今後の活動に役立たせてほしい。 基礎的な身体づくりや体力づくりから基本ステップから応用まで						
到達目標	授業毎に与えられた振付に対して自分らしい表現を加える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	柔軟性を高める	ストレッチ
2	5月25日	講義・演習	体幹力を高める	ストレッチ
3	6月1日	講義・演習	ターンの強化	ストレッチ
4	6月8日	講義・演習	ステップ強化	ストレッチ
5	6月15日	講義・演習	コンビネーションによる対応力の強化	ストレッチ
6	6月22日	講義・演習	ステップ時の上半身の使い方を習得	ストレッチ
7	6月29日	講義・演習	MAVE強化	ストレッチ
8	7月6日	講義・演習	滑らかな動きを習得	ストレッチ
9	7月13日	講義・演習	STOPの強化	ストレッチ
10	7月20日	講義・演習	緩急のある動きを習得	ストレッチ
11	7月27日	講義・演習	複雑な振付を習得	ストレッチ
12	8月3日	講義・演習	複雑なステップやターンを取り入れた振付を習得	ストレッチ
13	8月17日	講義・演習	前期の総まとめ	ストレッチ
14	8月24日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	8月31日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's HIP HOP(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	EMIKO
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インストラクター歴12年(TSM8年)						
授業の学習 内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体を知り強化する ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③DANCEを特技とし今後の活動に役立たせてほしい。 基礎的な身体づくりや体力づくりから基本ステップから応用まで						
到達目標	授業毎に与えられた振付に対して自分らしい表現を加える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	筋トレ強化により体力をつける	ストレッチ
2	10月12日	講義・演習	フロア技を習得	ストレッチ
3	10月19日	講義・演習	立ち踊りからのフロア技を習得	ストレッチ
4	11月9日	講義・演習	ペアワークにより対応力を高める	ストレッチ
5	11月16日	講義・演習	ペアダンスを強化	ストレッチ
6	11月23日	講義・演習	グループワークにより協調性を高める	ストレッチ
7	11月30日	講義・演習	グループ毎にオリジナルの構成を实践	ストレッチ
8	11月7日	講義・演習	ソロダンスを習得	ストレッチ
9	11月14日	講義・演習	オリジナルのソロダンスを实践	ストレッチ
10	11月21日	講義・演習	課題曲振付の实践	ストレッチ
11	1月18日	講義・演習	課題曲振付を強化	ストレッチ
12	1月25日	講義・演習	課題曲振付の披露	ストレッチ
13	2月1日	講義・演習	2年間の総まとめを实践	ストレッチ
14	2月8日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コーラスワーク(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西 涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業、ヤマハシンのインストラクター。ヴォーカリストとして独自のバンド活動始めるかたわら多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。ロサンゼルス在住のマイケルジャクソン氏のボイストレーナー セス・リグス氏に、レッスンを受けソウルシンガーとしても幅広く活躍する。						
授業の学習 内容	音感を養う為に半音、スケールをしっかりと歌える様にして身体鍵盤をもてるようにする。 サイトシンギングのトレーニングを用いて音と音の響きの感覚をしっかりと身に着ける。 ハーモニーを創る楽しさを感じ取ってもらいたい。						
到達目標	メインのメロディー、ハモリの音程がしっかりと取れる為の音感を養い、 つられることなくコードの中で美しくメロディーやハモリのパートを歌えることを目標とする。 また最終的にじぶんでハモリのパートを付けられるように自由にコーラスが出来る様にトレーニングを行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	1年間の授業内容の説明とプリント配布	プリントの確認
2	5月25日	講義・演習	スケール練習①リズム練習① (this little light of mine)歌唱トレーニング	スケール・リズムの練習・楽曲の音程確認
3	6月1日	講義・演習	スケール練習②リズム練習② (this little light of mine)歌唱トレーニング	スケール・リズムの練習・楽曲の音程確認
4	6月8日	講義・演習	スケール練習③リズム練習③ (this little light of mine)歌唱トレーニング	スケール・リズムの練習・楽曲の音程確認
5	6月15日	講義・演習	スケール練習④リズム練習④ (the rose)歌唱トレーニング	スケール・リズムの練習・楽曲の音程確認
6	6月22日	講義・演習	半音の練習①リズム練習⑤ (the rose)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
7	6月29日	講義・演習	半音の練習②リズム練習⑥ (the rose)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
8	7月6日	講義・演習	半音の練習③リズム練習⑦ (the rose)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
9	7月13日	講義・演習	半音の練習④リズム練習⑧ (世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
10	7月20日	講義・演習	半音の練習⑤リズム練習⑨ (世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
11	7月27日	講義・演習	半音の練習⑥リズム練習⑩ (世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	半音・リズムの練習・楽曲の音程確認
12	8月3日	講義・演習	半音の練習⑦リズム練習⑪ (世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	前期のおさらい
13	8月17日	講義・演習	前期の復習とテスト	前期のおさらい
14	8月24日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	8月31日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・楽譜・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	コーラスワーク(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西 涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業、ヤマハシンのインストラクター。ヴォーカリストとして独自のバンド活動を始めると同時に数多くアーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。ロサンゼルス在住のマイケルジャクソン氏のボイストレーナー セス・リグス氏に、レッスンを受けソウルシンガーとしても幅広く活躍する。						
授業の学習 内容	音感を養う為に半音、スケールをしっかり歌える様にして身体鍵盤をもてるようにする。 サイトシンギングのトレーニングを用いて音と音の響きの感覚をしっかりと身に着ける。 ハーモニーを創る楽しさを感じ取ってもらいたい。						
到達目標	メインのメロディー、ハモリの音程がしっかりと取れる為の音感を養い、 つられることなくコードの中で美しくメロディーやハモリのパートを歌えることを目標とする。 また最終的にじぶんでハモリのパートを付けられるように自由にコーラスが出来る様にトレーニングを行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月12日	講義・演習	相対音感の練習① (seasons of love)歌唱トレーニング	相対音感の練習・楽曲の音程確認
3	10月19日	講義・演習	相対音感の練習② (seasons of love)歌唱トレーニング	相対音感の練習・楽曲の音程確認
4	11月9日	講義・演習	相対音感の練習③ (seasons of love)歌唱トレーニング	相対音感の練習・楽曲の音程確認
5	11月16日	講義・演習	相対音感の練習④ (seasons of love)歌唱トレーニング	相対音感の練習・楽曲の音程確認
6	11月23日	講義・演習	相対音感の練習⑤ (サンタが街にやってくる)歌唱トレーニング	相対音感の練習・楽曲の音程確認
7	11月30日	講義・演習	サイトシンギングの練習① (サンタが街にやってくる)歌唱トレーニング	サイトシンギングの練習・楽曲の音程確認
8	11月7日	講義・演習	サイトシンギングの練習② (サンタが街にやってくる)歌唱トレーニング	サイトシンギングの練習・楽曲の音程確認
9	11月14日	講義・演習	サイトシンギングの練習③ (oh happy day)歌唱トレーニング	サイトシンギングの練習・楽曲の音程確認
10	11月21日	講義・演習	サイトシンギングの練習④ (oh happy day)歌唱トレーニング	サイトシンギングの練習・楽曲の音程確認
11	1月18日	講義・演習	サイトシンギングの練習⑤ (happy day)歌唱トレーニング	(oh) サイトシンギングの練習・楽曲の音程確認
12	1月25日	講義・演習	サイトシンギングの練習⑥ (oh happy day)歌唱トレーニング	後期のおさらい
13	2月1日	講義・演習	後期の復習とテスト	1年間のおさらい
14	2月8日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・楽譜・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	アクティング(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大友 恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動。						
授業の学習 内容	他授業として学ぶ発声やエチュード、朗読などの全ての学習内容を反映し、短編脚本を演じる						
到達目標	「セリフを覚える、発声する」「生きた言葉として想いをのせる」「ゼスチャーではなく、表現として動く」 「共演者を感じる。観客を感じとる。自分を感じとる。」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	2年生になっての目標と自己紹介	体力作り、ストレッチ
2	5月27日	講義・演習	基礎体力作り	体力作り、ストレッチ
3	6月3日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 1	脚本理解と振り返り
4	6月10日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 2	脚本理解と振り返り
5	6月17日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 3	脚本理解と振り返り
6	6月24日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 4	脚本理解と振り返り
7	7月1日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 5	脚本理解と振り返り
8	7月8日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 6	脚本理解と振り返り
9	7月15日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 7	脚本理解と振り返り
10	7月22日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 8	脚本理解と振り返り
11	7月29日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 9	脚本理解と振り返り
12	8月5日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 10	ここまでチーム分けして一度発表
13	8月19日	講義・演習	短編脚本使ったの訓練 11	12週で発表したものを全員で感想を話して後期につなげる
14	8月26日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月2日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習			五感を感じる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクティング(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大友 恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動。						
授業の学習 内容	他授業として学ぶ発声やエチュード、朗読などの全ての学習内容を反映し、短編脚本を演じる						
到達目標	「セリフを覚える、発声する」「生きた言葉として想いをのせる」「ゼスチャーではなく、表現として動く」 「共演者を感じる。観客を感じとる。自分を感じとる。」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の応用編1	台本確認と今日の振り返り
2	10月14日	講義・演習	前期の応用編2	台本確認と今日の振り返り
3	10月21日	講義・演習	前期の応用編3	台本確認と今日の振り返り
4	11月11日	講義・演習	前期の応用編4	台本確認と今日の振り返り
5	11月18日	講義・演習	前期の応用編5	台本確認と今日の振り返り
6	11月25日	講義・演習	前期の応用編6	台本確認と今日の振り返り
7	12月2日	講義・演習	前期の応用編7	台本確認と今日の振り返り
8	12月9日	講義・演習	前期の応用編8	台本確認と今日の振り返り
9	12月16日	講義・演習	前期の応用編9	台本確認と今日の振り返り
10	1月10日	講義・演習	前期の応用編10	台本確認と今日の振り返り
11	1月13日	講義・演習	前期の応用編11	台本確認と今日の振り返り
12	1月20日	講義・演習	発表1	振り返り
13	1月27日	講義・演習	発表2	振り返り
14	2月14日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習			五感を感じて自分を知る	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body expression (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	柳瀬 真澄
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催 全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演						
授業の学習 内容	バレエレッスン(体づくりとバレエの基礎レッスン)						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身(人間)の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	1年次の復習	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
2	5月25日	講義・演習	1年次の復習(バーレッスン)	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
3	6月1日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
4	6月8日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
5	6月15日	講義・演習	バーレッスンのちバーを離したタンジェ・デガジェ・タニエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
6	6月22日	講義・演習	バーレッスンのちバーを離したタンジェ・デガジェ・タニエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
7	6月29日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、フェリチレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
8	7月6日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、フェリチレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
9	7月13日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
10	7月20日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
11	7月27日	講義・演習	バーレッスンのちセッター(バーを離した状態で)ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
12	8月3日	講義・演習	バーレッスンのちセッター(バーを離した状態で)ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
13	8月17日	講義・演習	テスト	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
14	8月24日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	8月31日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body expression (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	柳瀬 真澄
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催 全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演						
授業の学習 内容	バレエレッスン(体づくりとバレエの基礎レッスン)						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身(人間)の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期の復習	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
2	10月12日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
3	10月19日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
4	11月9日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
5	11月16日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
6	11月23日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
7	11月30日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
8	11月7日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
9	11月14日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
10	11月21日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
11	1月18日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
12	1月25日	講義・演習	ストレッチ・パーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
13	2月1日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	2月8日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーションA(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森 雅紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TVCM、キャスターリポーター、ラジオDJ、スタジアムDJ、ナレーション舞台役者など幅広く活動。						
授業の学習 内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正、声の出し方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ナレーションとは。ナレーションに必要な要素は何か	テレビ、ラジオから聞こえてくる声に耳を傾ける
2	5月26日	講義・演習	簡単な原稿を読んでみる。ナレーションの基礎知識、注意点。	活舌、発声
3	6月2日	講義・演習	前回の復習と自分の癖の気付き、改善。	活舌、発声
4	6月9日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
5	6月16日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
6	6月23日	講義・演習	感情開放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
7	6月30日	講義・演習	感情開放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
8	7月7日	講義・演習	芝居の台本とNa原稿との違いと相似点を学ぶ。	読書の習慣を身に付ける
9	7月14日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
10	7月21日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
11	7月28日	講義・演習	MC台本を使つての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
12	8月4日	講義・演習	MC台本を使つての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
13	8月18日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
14	8月25日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月1日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーションA(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森 雅紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TVCM、キャスターリポーター、ラジオDJ、スタジアムDJ、ナレーション舞台役者など幅広く活動。						
授業の学習 内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。声の出し方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習。改めて、Naでの注意点。	自分が変化した事の再認識
2	10月13日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じる
3	10月20日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じるようになる
4	11月10日	講義・演習	自分の言葉で内容を伝えるとはどのような事を学ぶ。	自分が感じている事を言葉で伝えられるようにする
5	11月17日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
6	11月24日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
7	12月1日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
8	12月8日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
9	12月15日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
10	12月22日	講義・演習	改めて発声の基礎から再確認	日常から、自分の、周りの声に意識を向ける
11	1月12日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
12	1月19日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
13	1月26日	講義・演習	1年間の振り返り	表現をする事を常に楽しむ
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーションB(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森 雅紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TVCM、キャスターリポーター、ラジオDJ、スタジアムDJ、ナレーション舞台役者など幅広く活動。						
授業の学習 内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正、声の出し方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ナレーションとは。ナレーションに必要な要素は何か	テレビ、ラジオから聞こえてくる声に耳を傾ける
2	5月26日	講義・演習	簡単な原稿を読んでみる。ナレーションの基礎知識、注意点。	活舌、発声
3	6月2日	講義・演習	前回の復習と自分の癖の気付き、改善。	活舌、発声
4	6月9日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
5	6月16日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
6	6月23日	講義・演習	感情開放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
7	6月30日	講義・演習	感情開放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
8	7月7日	講義・演習	芝居の台本とNa原稿との違いと相似点を学ぶ。	読書の習慣を身に付ける
9	7月14日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
10	7月21日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
11	7月28日	講義・演習	MC台本を使つての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
12	8月4日	講義・演習	MC台本を使つての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
13	8月18日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
14	8月25日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月1日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーションB(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森 雅紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TVCM、キャスターリポーター、ラジオDJ、スタジアムDJ、ナレーション舞台役者など幅広い活動。						
授業の学習 内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。声の出し方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習。改めて、Naでの注意点。	自分が変化した事の再認識
2	10月13日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じる
3	10月20日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じるようになる
4	11月10日	講義・演習	自分の言葉で内容を伝えるとはどのような事を学ぶ。	自分が感じている事を言葉で伝えられるようにする
5	11月17日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
6	11月24日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
7	12月1日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクター設定、登場人物像の創造など、自分で構築できるようになる
8	12月8日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
9	12月15日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
10	12月22日	講義・演習	改めて発声の基礎から再確認	日常から、自分の、周りの声に意識を向ける
11	1月12日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
12	1月19日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
13	1月26日	講義・演習	1年間の振り返り	表現をする事を常に楽しむ
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演技総合実習(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大塚 智則
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は16年、現在1700本以上に出演し活動している。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習 内容	実際使用されたオーディオドラマ、ゲーム台本、古典作品、シアター台本等を使用しての実践形式のレッスン。						
到達目標	キャラクター構築、作品の捉え方、ニーズを考えた演技プランの構築方法、スタジオインサイドワーク等、実践的に体感する中でプロ意識を築かせる。それと共に社会性も高く持ち、リスペクトされる姿勢も身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	自己紹介(印象に残る自己紹介の方法認識)	目標、セールスポイントの確認
2	5月26日	講義・演習	基本技術確認&ディスカッション	キャラ仕入れ(キャラ模写(ものまね)可)
3	6月2日	講義・演習	基本技術確認&ディスカッション	キャラ仕入れ(キャラ模写(ものまね)可)
4	6月9日	講義・演習	基本技術確認&ディスカッション	キャラ仕入れ(キャラ模写(ものまね)可)
5	6月16日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読1	課題読み込み(毎日10分間)
6	6月23日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読1	課題読み込み(毎日10分間)
7	6月30日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読2	課題読み込み(毎日10分間)
8	7月7日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読2	課題読み込み(毎日10分間)
9	7月14日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
10	7月21日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
11	7月28日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
12	8月4日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
13	8月18日	講義・演習	前期のまとめ	自己の研鑽課程の再確認
14	8月25日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月1日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習		発声練習、滑舌練習、ファルセット(裏声)発声、ものまね、映画やドラマの視聴		
【使用教科書・教材・参考書】				
自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。				

科目名	演技総合実習(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大塚 智則
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は16年、現在1700本以上に出演し活動している。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習 内容	引き続き、実際使用されたオーディオドラマ、ゲーム台本、古典作品、シアター台本等を使用しての実践形式のレッスン。						
到達目標	キャラクター構築、作品の捉え方、ニーズを考えた演技プランの構築方法、スタジオインサイドワーク等、実践的に体感する中でプロ意識を築かせる。それと共に社会性を高く持ち、リスペクトされる姿勢も身につける。自身の考えやプランに即し、求められた事に対してもしっかり意見を言える表現者を目標にする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習(コメディ)	課題読み込み(時代背景仕入れ)
2	10月13日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習(コメディ)	課題読み込み(時代背景仕入れ)
3	10月20日	講義・演習	外画アテレコ演習(アクション)	アクション映画視聴
4	11月10日	講義・演習	外画アテレコ演習(アクション)	アクション映画視聴
5	11月17日	講義・演習	外画アテレコ演習(アクション)まとめ	アクション映画視聴
6	11月24日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習	課題読み込み(時代背景仕入れ)
7	12月1日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習	課題読み込み(時代背景仕入れ)
8	12月8日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習まとめ	課題読み込み(時代背景仕入れ)
9	12月15日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み(毎日10分間)
10	12月22日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み(毎日10分間)
11	1月12日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み(毎日10分間)
12	1月19日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み(毎日10分間)
13	1月26日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習まとめ	課題読み込み(毎日10分間)
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習		発声練習、滑舌練習、ファルセット(裏声)発声、ものまね、映画やドラマの視聴		
【使用教科書・教材・参考書】				
自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。				

科目名	ヴォーカルテクニック(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川 麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1984年キングレコードよりTVアニメ重戦機エルガイム主題歌でデビュー。代表作は機動戦士Zガンダム主題歌「Z・刻をこえて」。他多数楽曲リリース。CM歌唱200作品。海外公演および2018年キングススーパーライブ@東京ドーム出演。様々な活動をしている。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ガイダンス～授業の流れ、選曲、発声	選曲オケ・歌詞カード準備・作成
2	5月26日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	6月2日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	6月9日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	6月16日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	6月23日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	6月30日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	7月7日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	7月14日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	7月21日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	7月28日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	8月4日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	8月18日	講義・演習	歌唱テスト	後期に向けての選曲・歌詞カード準備・作成
14	8月25日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月1日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
各自選曲のオケ、歌詞カード(2部プリントアウト) 用意して下さい。				

科目名	ヴォーカルテクニック(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川 麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1984年キングレコードよりTVアニメ重戦機エルガイム主題歌でデビュー。代表作は機動戦士Zガンダム主題歌「Z・刻をこえて」。他多数楽曲リリース。CM歌唱200作品。海外公演および2018年キングススーパーライブ@東京ドーム出演。様々な活動をしている。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
2	10月13日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	10月20日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	11月10日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	11月17日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	11月24日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	12月1日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	12月8日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	12月15日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	12月22日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	1月12日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	1月19日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	1月26日	講義・演習	歌唱テスト	1年の振り返り
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
各自選曲のオケ、歌詞カード(2部プリントアウト) 用意して下さい。				

科目名	アクション・殺陣(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗で活動して30年						
授業の学習内容	アクションとは本来(行動、動作)を意味する英語ですが、日本では暴力全般を指します。一口に暴力と言っても、殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ、等多義に渡り、役(キャラクター)によってもその行動は全く変わってきます。まずは主な素手、蹴り、其に伴うリアクション、後半は木刀を使って時代劇における刀を刃物としながら安全に扱う方法を学びます。						
到達目標	暴力と痛みを表現する為に必要な技術と演技、木刀を刃物として扱う技術と演技を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	拳の作り方、構え、足運び	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
2	5月27日	講義・演習	殴り(顔)、リアクション(顔)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
3	6月3日	講義・演習	殴り(腹)、リアクション(腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
4	6月10日	講義・演習	空手の防御(上段受け、内受け、外受け、下段受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
5	6月17日	講義・演習	攻撃のかかし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
6	6月24日	講義・演習	空手の蹴り1(前蹴り、蹴り上げ、回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
7	7月1日	講義・演習	帯の結び方、抜刀、正眼、納刀	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
8	7月8日	講義・演習	素振り1(面、左右面、袈裟斬り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
9	7月15日	講義・演習	素振り2(抜き胴、突き、真っ向)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
10	7月22日	講義・演習	打ち込み(空打ち、振り返る)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
11	7月29日	講義・演習	打ち込みから剣を払われる(右、左)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
12	8月5日	講義・演習	打ち込まれた剣を払われると剣を払う	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
13	8月19日	講義・演習	1vs全での打ち込み風殺陣と切られるリアクション	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
14	8月26日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月2日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習			TV、映画、DVD、アニメ、動画、舞台、漫画、小説等のアクションを観て、他の俳優やアクション俳優、武道家などがどう表現をしているか、またはどう動いているかを研究する。自分が出来るようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を身につけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクション・殺陣(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習内容	個々が個別の技を覚えて出来るようになってもそれはアクションではありません。全てのアクションは集団行動に依って成り立ちます。複数の出演者が攻撃、被害を繰り返します。更に、それを視聴者や観客に観てもらい、感動を生ませて初めてアクションとなります。また、集団での剣殺陣は小道具である刀を振り回して演技する為危険度が格段に跳ね上がります。更に現実問題として演者を切ることが出来ないのでバレやすく、リアリティーは失われがちになります。こういった欠点は演技によって補正するしかありません。特別授業としてモデルガンを使い、仕組みや種類、取り扱い方のガンアクションも学びます。						
到達目標	出演者と息を合わせ、アクションや剣殺陣と演技を安全に組み合わせる事が出来る様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	1vs1でのアクション1	前期の復習、イメトレ、自主トレ
2	10月14日	講義・演習	1vs1でのアクション2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
3	10月21日	講義・演習	1vs2でのアクション1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
4	11月11日	講義・演習	1vs2でのアクション2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
5	11月18日	講義・演習	1vs多でのアクション1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
6	11月25日	講義・演習	1vs多でのアクション2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7	12月2日	講義・演習	1vs全での打ち込み風殺陣と天、地、鏢競り	前期の復習、イメトレ、自主トレ
8	12月9日	講義・演習	1vs全での打ち込み風殺陣と擦り流し、巻き打ち、カチ上げ	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9	12月16日	講義・演習	1vs1での剣殺陣	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10	1月10日	講義・演習	1vs多での剣殺陣1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
11	1月13日	講義・演習	1vs多での剣殺陣2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12	1月20日	講義・演習	拳銃の仕組み、種類、構え方	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13	1月27日	講義・演習	ガンアクションとその考察	前週の復習、イメトレ、自主トレ
14	2月14日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習			TV、映画、DVD、アニメ、動画、舞台、漫画、小説等のアクションを観て、他の俳優やアクション俳優、武道家などがどう表現をしているか、またはどう動いているかを研究する。自分が出来るようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を身につけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	外画プロジェクト(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北村 幸子
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	外画吹き替えにて活動。出演60作品。						
授業の学習 内容	外画アフレコを行う。 前期は外画とは何か？ということを中心に学びながらアフレコに不可欠な基礎(発声 活舌 芝居等)を再確認し、マイクの前でそれらを活かしながら吹き替えの表現を学んでいく。映像チェック テスト 本番の順でアフレコを繰り返す。						
到達目標	外画吹き替えに必要な知識及び、マイクの前での表現方法を学び現場に必要なスキルを身につけて表現できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	外画、吹き替えとは何か？を理解する	レポート(授業後自身で纏めておく)
2	5月27日	講義・演習	自身の目標を明確にし授業に取り組む	レポート(授業前に自身で纏めておく)
3	6月3日	講義・演習	作品への理解を深める。(ストーリー)	レポート(ストーリーを言えるようにしておく)
4	6月10日	講義・演習	登場人物の性格、関係性を理解する	レポート(関係性等台本に書き込む)
5	6月17日	講義・演習	登場人物の個々のキャラクターの理解を深める	レポート(登場人物の性格等を纏める)
6	6月24日	講義・演習	「タイムコード」を取る	レポート(タイムコードの取り方を纏める)
7	7月1日	講義・演習	映像チェックのポイントを知り実践する	レポート(自身で纏める)
8	7月8日	講義・演習	映像チェックのポイントをより細かく実践する	レポート(自身で纏める)
9	7月15日	講義・演習	役を演じる、表現とは？をマイク前で実践する	レポート(自身で纏める)
10	7月22日	講義・演習	自分の声、キャラクターを知る	発声、活舌等基礎は自身で練習を重ねる
11	7月29日	講義・演習	自分のキャラクターを知り録音を繰り返す	自分の得意なキャラクターを考えておく
12	8月5日	講義・演習	役の表情に合わせられるように実践する	レポート(自身で纏める)
13	8月19日	講義・演習	アフレコを行い試験に臨む	自身の出来た点難しかった点自己分析をする
14	8月26日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月2日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習		毎授業台本の台詞を声に出して予習を、授業後は内容を自身で書き出して復習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】				
台本(コピー)				

科目名	外画プロジェクト(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北村 幸子
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	外画吹替えにて活動。出演60作品。						
授業の学習 内容	前期で学んだマイク前での表現を实践しながら吹き替えのアフレコを行う。 映像チェック、テスト、本番の順でアフレコを繰り返していく。						
到達目標	吹き替えのアフレコにおいて自分のキャラクターを知り、活かしながらストーリー、登場人物、シーンに合った表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自身の目標を改めて明確にし授業に臨む	事前に自身で纏めておく
2	10月14日	講義・演習	前期の復習をしながらアフレコする	前期に学んだことを復習しておく
3	10月21日	講義・演習	自分に合うキャラクターを知る	自身で得意なキャラクターを考えて臨む
4	11月11日	講義・演習	アフレコシーンの流れを掴み表現出来る	議論 (アフレコ前に考えて話し合う)
5	11月18日	講義・演習	登場人物の気持ちの流れを掴み表現出来る	議論 (アフレコ前に考えて話し合う)
6	11月25日	講義・演習	役の感情の流れを踏まえ台詞をあてていく	議論 (授業時に会話を意識できたか話し合う)
7	12月2日	講義・演習	相手との会話を意識しアフレコする	議論 (授業時に達成できたか話し合う)
8	12月9日	講義・演習	相手の台詞を聞き芝居が受け取れるようになる	議論 (授業時に達成できたか話し合う)
9	12月16日	講義・演習	台詞の口のバクに正確に合わせる事が出来る	議論 (授業時に達成できたか話し合う)
10	1月10日	講義・演習	登場人物の台詞や、息遣いを理解する	レポート(自身で良かった点、反省点纏める)
11	1月13日	講義・演習	アフレコの流れを掴み実践出来る	レポート(自身で良かった点、反省点纏める)
12	1月20日	講義・演習	アフレコの流れを掴み実践出来る	レポート(自身で良かった点、反省点纏める)
13	1月27日	講義・演習	学んだことを活かしアフレコで表現できる	レポート(自身で良かった点、反省点纏める)
14	2月14日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習		毎授業事前に声に出して台詞の練習、授業後に自身で復習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】				
台本(コピー)				

科目名	朗読(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大友 恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	オリジナルテキストを使用 読解力を強化し、言葉で伝える技術の基礎を身につける						
到達目標	物語を正しく理解することができる わかりやすい伝え方ができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	リラックスして声を出す	今日の振り返り
2	5月27日	講義・演習	大きな声で話す	今日の振り返り
3	6月3日	講義・演習	言葉のキャッチボール	今日の振り返り
4	6月10日	講義・演習	言葉と感情のつながり	今日の振り返り
5	6月17日	講義・演習	物語の設定や状況を理解する	今日の振り返り
6	6月24日	講義・演習	登場人物のキャラクターを考える	今日の振り返り
7	7月1日	講義・演習	聞き取りやすいスピード感	今日の振り返り
8	7月8日	講義・演習	区切りと間の取り方、作り方	今日の振り返り
9	7月15日	講義・演習	感情の伝わり方	今日の振り返り
10	7月22日	講義・演習	群読	今日の振り返り
11	7月29日	講義・演習	共有し息を合わせる	今日の振り返り
12	8月5日	講義・演習	想像力をふくらませる	今日の振り返り
13	8月19日	講義・演習	妄想をふくらませる	今日の振り返り
14	8月26日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月2日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習			復習すること。視点を変えて考えてみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	朗読(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大友 恵理
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。舞台、CM、映画、司会など多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	オリジナルのテキストを使用。細かく読み解きながら表現力を高め、観客の想像力をよりふくらませることができるようにする						
到達目標	間、緩急、抑揚などのテクニックを使うことができる 言葉で状況や質感(状態)などを伝えることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	同音異義語を正しく伝える	今日の振り返り
2	10月14日	講義・演習	状況や状態を意識して読む	今日の振り返り
3	10月21日	講義・演習	色や温度、質感を意識して読む	今日の振り返り
4	11月11日	講義・演習	関係性から生まれるもの	今日の振り返り
5	11月18日	講義・演習	行間、物語の前後を想像する	今日の振り返り
6	11月25日	講義・演習	読み方の組み立て方	今日の振り返り
7	12月2日	講義・演習	動きながらの群読	今日の振り返り
8	12月9日	講義・演習	1人～2人での朗読	今日の振り返り
9	12月16日	講義・演習	2人～3人での朗読	今日の振り返り
10	1月10日	講義・演習	3人～4人での朗読	今日の振り返り
11	1月13日	講義・演習	真っ白な心で読む	今日の振り返り
12	1月20日	講義・演習	伝えたいこと、伝わったことの確認	今日の振り返り
13	1月27日	講義・演習	周りの全てを確認して意識して朗読	一年間の振り返り
14	2月14日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月15日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習		復習すること。視点を変えてアプローチを方法を変えてみること		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ドラマアクティング(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	竹田 光一
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映画/ドラマ/舞台/CFに多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を身に会得する。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。						
到達目標	基本的には1年と同様ですが、一つ一つの質を上げる。 1年生の時に学んだ事を生かし、より質の良い表現を身につける。 1テイクでOKが出るように集中力を高める グループとのコミュニケーション能力を高める ※卒業後、即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	オーディション(AD)対策。15分で自分で演技プランの組み立て演じる。(自己PR&演技を撮影)	自己PRを考えておく
2	5月28日	講義・演習	前回の映像チェック	カメラテスト。次回の台本、配布
3	6月4日	講義・演習	①「一人芝居台本」リハーサル	今回の反省を次回に生かす
4	6月11日	講義・演習	②「一人芝居台本」撮影	各人でそれぞれFBを自分の物にする
5	6月18日	講義・演習	③「一人芝居台本」映像チェック	「ショートムービー」プランを考えてくる
6	6月25日	講義・演習	①「ショートムービー」制作の話し合い	話し合いの結果を踏まえ次回発表
7	7月2日	講義・演習	②「ショートムービー」原案・プレゼン。 作品、役割決定。	今回の話し合いでの課題を次回進展
8	7月9日	講義・演習	③「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
9	7月16日	講義・演習	④「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
10	7月30日	講義・演習	⑤「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
11	8月20日	講義・演習	⑥「ショートムービー」台本・絵コンテ、キャスト・スタッフ、香盤表、決定	今回の話し合いでの課題を次回進展
12	8月6日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルA班	※レポート提出
13	8月27日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルB班	※「夏休みの「4コマ動画」告知
14	9月3日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月10日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
・各自、ドラマク用のノート用意。筆記用具。アイパット。配布台本用のファイル。※撮影機材一式。カメラ・三脚・カチンコ・レフパン・マイク				

科目名	ドラマアクティング(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	竹田 光一
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映画/ドラマ/舞台/CFに多数出演し活動している。						
授業の学習 内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を身に会得する。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。						
到達目標	基本的には1年と同様ですが、一つ一つの質を上げる。 1年生の時に学んだ事を生かし、より質の良い表現を身につける。 1テイクでOKが出るように集中力を高める グループとのコミュニケーション能力を高める ※卒業後、即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	※「夏休みの「4コマ動画作品」上映会	次週の確認
2	10月15日	講義・演習	⑧「ショートムービー」撮影日	チラシ・パンフ制作確認
3	10月22日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
4	11月5日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
5	11月12日	講義・演習	⑩「ショートムービー」撮影日	次週の確認
6	11月19日	講義・演習	⑪「ショートムービー」撮影日	次週の確認
7	11月26日	講義・演習	⑫「ショートムービー」撮影日	次週の確認
8	12月3日	講義・演習	⑬「ショートムービー」撮影日予備日	次週の確認
9	12月10日	講義・演習	⑭「ショートムービー」編集	次週の確認
10	12月17日	講義・演習	⑮「ショートムービー」編集	次週の確認
11	1月7日	講義・演習	⑯「ショートムービー」予備日	※レポート提出
12	1月14日	講義・演習	⑯「ショートムービー」上映会リハーサル	※レポート提出
13	1月21日	講義・演習	⑰「ショートムービー」上映会	選ばれた作品のみ上映します
14	1月28日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月11日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
・各自、ドラマ用のノート用意。筆記用具。アイパット。配布台本用のファイル。※撮影機材一式。カメラ・三脚・カチンコ・レフパン・マイク				

科目名	Actor's ライブゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 賢治
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング(L'Arc~en~Ciel「DUNE」/ アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」/ 44MAGNUM「44MAGNUM」など)で、ロック・キーボーディストとして活動						
授業の学習 内容	前期、後期に各1回 行われる、Actor's ライブを発表の場(実技テスト)とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する。 校内(LS-1)でのライブを行う。歌唱表現のレベルアップに必要なトレーニングについても演習を行う。						
到達目標	Actor's ライブという実践の場に向けて、 企画、音響、照明の学生とも連携を取り、準備を行い、ひとつのイベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	年間を通しての授業説明 前期 Actor's ライブに向けた、テーマ決めと選曲などを行う。	前期 Actor's ライブというイベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
2	5月28日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱表現やパフォーマンスを日々 研究する。
3	6月4日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に必要な、音感・リズム感を向上させる為、日常的にトレーニングを行う。
4	6月11日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に説得力を持たせる為、アニメや舞台作品のどのようなシーンで、楽曲が使用されているか理解する。
5	6月18日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌唱箇所の歌詞を暗記する。
6	6月25日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、ひとつのイベント成功に向け、自らが行動できることを実践する。
7	7月2日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	動画サイトや映像作品において、Actor's ライブにおける歌唱表現やパフォーマンスを日々 研究する。
8	7月9日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
9	7月16日	講義・演習	前期 Actor's LIVE 本番日 サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
10	7月30日	講義・演習	前期 Actor's LIVE 反省会 ライブの映像鑑賞とレポート記入	後期 Actor's ライブ・イベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
11	8月20日	講義・演習	後期 Actor's LIVE に向けた、テーマ決めと選曲などを行う。	後期 Actor's ライブ・イベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
12	8月6日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱表現やパフォーマンスを日々 研究する。
13	8月27日	講義・演習	歌唱パフォーマンス、振り付け、衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に必要な、音感・リズム感を向上させる為、日常的にトレーニングを行う。
14	9月3日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月10日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Actor's ライブゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 賢治
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング(L'Arc~en~Ciel「DUNE」/ アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」/ 44MAGNUM「44MAGNUM」など)で、ロック・キーボーディストとして活動						
授業の学習 内容	前期, 後期に各1回 行われる、Actor's ライブを発表の場(実技テスト)とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する。 校内(LS-1)でのライブを行う。歌唱表現のレベルアップに必要なトレーニングについても演習を行う。						
到達目標	Actor's ライブという実践の場に向けて、 企画、音響、照明の学生とも連携を取り、準備を行い、ひとつのイベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に必要な、音感・リズム感を向上させる為、日常的にトレーニングを行う。
2	10月13日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に説得力を持たせる為、アニメや舞台作品中のどのようなシーンで、楽曲が使用されているか、理解する。
3	10月20日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌詞を暗記する。
4	11月10日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	動画サイトや映像作品において、Actor's ライブにおける歌唱表現やパフォーマンスを日々 研究する。
5	11月17日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	動画サイトや映像作品において、Actor's ライブにおける歌唱表現やパフォーマンスを日々 研究する。
6	11月24日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、一つのイベント成功に向け、自らが行動できる事を実践する。
7	12月1日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、一つのイベント成功に向け、自らが行動できる事を実践する。
8	12月8日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、一つのイベント成功に向け、自らが行動できる事を実践する。
9	12月15日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、一つのイベント成功に向け、自らが行動できる事を実践する。
10	12月22日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
11	1月12日	講義・演習	歌唱パフォーマンス, 振り付け, 衣装などを、セルフ・プロデュースの視点で自己評価する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
12	1月19日	講義・演習	後期 Actor's LIVE 本番日 サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
13	1月26日	講義・演習	後期 Actor's LIVE 反省会 ライブの映像鑑賞とレポート記入	この授業で学んできたことを振り返り、今後の各分野での活動の糧とする。
14	2月9日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月16日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム 与えられた役の練習。その公演。						
到達目標	役を正しく理解し、イメージした演技をできるようになる。 セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる。(サブテキスト) コミュニケーション力、人間力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・目標を定める・日本語の文法	文法の文例練習
2	5月29日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・公演用台本配布・初見読み	台本を読めるように(漢字等)
3	6月5日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み・脚本解釈	本読み・やりたい役を決める
4	6月12日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・オーディション	本読み・反省
5	6月19日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・キャスティング・本読み	自分の役の本読み
6	6月26日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	自分の役の本読み
7	7月3日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	セリフを覚える
8	7月10日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	動き・演出を理解する
9	7月31日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全てを練習、衣装を考える
10	8月21日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全てを練習、衣装を考える
11	8月28日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全てを練習、衣装を決める
12	8月7日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全てを練習
13	9月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全てを練習
14	9月11日	講義・演習	中間公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	9月18日	講義・演習	中間公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	劇団青年座・俳優。劇団の数々の舞台、商業演劇、ミュージカル等に出演。演出家・山口あきら『少年ギ曲団』を初め数々の小劇団 オペラ オペレッタを演出。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム 与えられた役の練習。その公演。						
到達目標	役を正しく理解し、イメージした演技をできるようになる。 セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる。(サブテキスト) コミュニケーション力、人間力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・公演用稽古	公演用稽古練習
2	10月16日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	公演用脚本本読み
3	10月23日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・本読み	公演用脚本本読み
4	11月6日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・キャスティング	脚本理解・本読み
5	11月13日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・キャスティング	脚本理解・本読み
6	11月20日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・キャスティング	脚本理解・セリフを覚える
7	11月27日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	動き・演出理解・覚える
8	12月4日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	動き・演出理解・覚える
9	12月11日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	動き・演出理解・覚える
10	12月18日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・立ち稽古	全体を考える(衣装その他)
11	1月8日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体を考える(衣装その他)
12	1月15日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体を考える(衣装その他)
13	1月22日	講義・演習	ストレッチ・発声・ゲーム・通し稽古	全体を考える(衣装その他)
14	1月29日	講義・演習	卒業公演稽古	台本を覚える。立ち位置の確認
15	2月12日	講義・演習	卒業公演小屋入り	仕込み、立ち稽古、本番
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				